



平成23年5月31日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

## 株式会社ウェッジホールディングスとの 業務提携に関する覚書締結についてのお知らせ

当社は平成23年5月30日付で株式会社ウェッジホールディングス（大証JASDAQ市場上場。以下、「ウェッジホールディングス」という。）の発行済み株式の50.6%を取得し当社の連結子会社といたしました。（詳細につきましては、本日当社が公表いたしました「ウェッジホールディングスの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご参照ください。）

これに先立ちまして、平成23年5月29日付で、当社とウェッジホールディングスとの間で、今後の事業提携方針検討に関する覚書を締結しましたので下記の通りお知らせします。

### 1. 業務提携の理由

本日付の「ウェッジホールディングスの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」において開示いたしましたとおり、平成23年5月30日付でウェッジホールディングスを当社の連結子会社といたしました。

ウェッジホールディングスは、ゲーム・出版事業、コンテンツの作成やアジアを中心とした投資事業を展開しており、近年の業績伸張は目覚ましいものがあります。

当社とウェッジホールディングスは、従来からスポーツ関連事業における販売促進支援等の協力関係を築いて参りました。当社は、この度のウェッジホールディングスの株式取得に先立ちまして、ウェッジホールディングスの経営陣と慎重に協議を行い、両社間の事業提携を促進し、更に事業拡大に繋げていくことが可能であることを確信いたしました。その結果、両者間の協業方向性の更なる検討を目的として、業務提携に関する覚書を締結いたしました。

### 2. 業務提携の内容

当社およびウェッジホールディングスの業務提携の主な内容は以下の通りとなっております。

#### (1) 提携における方針

当社は、ウェッジホールディングスの近年の業績拡大を評価し、ウェッジホールディングスの従来の経営方針を引き続き推進していくことを支持し、その上で両社は双方の事業発展に向けての協力をおこなう方針といたしました。

## (2) スポーツ関連事業における協業推進

両社はそれぞれの子会社および出資先企業を通じて国内外にスポーツ関連事業を展開しております。当社は子会社を通じて国内のテニスクラブ事業を運営し、国内でのテニス関連用品の製造販売を行っております。また、ウェッジホールディングスは子会社の行う投資事業を通じた出資先企業に海外のテニスクラブ運営企業をもち、またテニス選手をはじめとしたアスリートに対するサプリメントの開発販売事業を手がけるなど、高い親和性が見込まれる事業を展開しております。両社はそれらスポーツ関連事業における具体的な協業を推進するべく具体的な施策を検討することといたしました。

## (3) アジア地域における協業推進

両社はそれぞれアジア地域における事業拡大を主要な事業方針に掲げております。当社はマレーシアに子会社を保有し、アジア各国の市場開拓を子会社を通じて推進しております。ウェッジホールディングスは東南アジアを中心とした投資事業を拡大しタイにおいて高い成長と収益性をもつファイナンス事業会社をもつなどアジア地域での活動を拡大しております。両社はそれらの事業を協力して推進することにより事業シナジーの創出が見込まれるものとみて具体的な施策の検討を推進することといたしました。

## (4) 間接部門の業務に関する協業

両社の間接部門において行われる共通業務に関し、業務効率向上、業務品質改善、コスト削減などの観点から効果が見込まれる具体的な施策について、検討を推進してまいります。

## (5) 株式保有についての方針

当社は、ウェッジホールディングスの親会社として同社の株式を長期保有する方針とし、長期に安定的な関係を維持構築することを通じて、双方の企業価値向上に邁進してまいります。また、ウェッジホールディングスの事業拡大に伴い、財務的支援の必要性が発生した場合には、同社の支援も検討してまいります。

## 3. 業務提携の相手先の概要

本日当社が開示しております「株式会社ウェッジホールディングスの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. 業績に与える影響について

今回の業務提携に関する覚書締結による今期の業績に与える影響につきましては、軽微であります。今後具体的に提携方針が決定した場合には、公表させていただきます。

以 上